

第2回苫小牧市男女平等参画審議会会議録概要

- 1 開催日時 平成20年3月28日(金) 13:30~15:30
- 2 場所 女性センター4F 講習室A
- 3 出席者 委員 苫小牧市男女平等参画審議会委員6名(3名欠席)
事務局 市民部長、女性政策課長、副主任、主査
- 4 議事概要

①委員の解任と欠員補充について事務局から報告

若木委員からの委員辞退届けを受け、平成20年2月26日付解任。

その補充委員の公募を実施、4月1日広報とまこまいに掲載し4月末までに決定の予定。

②「とまこまい男女共同参画プラン21」について施策担当課の見直し等の状況について

事務局・・・施策の担当課に対して、プラン21の各施策の継続、見直し等調査した結果、表現の変更はあるものの概ね各施策を継続していく考えである回答であった。

③基本計画体系について

事務局・・・基本目標を「男女平等参画の意識改革」「あらゆる分野への男女平等参画の推進」「健康で生き生きと暮らせる環境の整備」の3つとする現在の事務局案を説明。

④重点事項の設定について

事務局・・・重点事項と定めることについての意見を聴きたい。

委員の意見

- ・苫小牧は工業のまち、企業の協力・努力が必要で、行政が講師を派遣して企業のなかで講座など行ったりできればよい。
- ・子どもや高齢者にわかりやすい表現で男女平等の広報を行うことが必要。
- ・企業が男女平等を進めていることを名乗り出て、その企業の情報を公開できるとよい。
- ・大手企業は進めているが、中小企業には難しいのが現実。
- ・ここ数年企業も勤労者に対する意識が変わってきている。社会的に求められていること考えるようになった。
- ・計画の中に、ショウガイシャという言葉があるが、ガイはひらがなを使うのがよい。
- ・女性センターの活用のしかたについて皆が納得できる利用が望ましい。
- ・DVについて、警察に寄せられる相談が苫小牧は全道一になっているが、それは反対に相談体制がよいからだと言える。広報啓発の一定の成果は現れている。
- ・女性に対する暴力は犯罪だということは、国の機関が周知を図っている。市としてもう一步掘り下げた啓発を行っていただきたい。
- ・DV関連の講座に出たが、若い世代の人がしっかりとした考えを持って参加していた。講座の中で育っていく人がたくさんいる。その人たちの活躍の場をつくることも必要

- ・重点目標をもつことで他が希薄になってはいけない。
- ・「今の現状はこうだ」を調べるために、社会福祉の進んだ国では、オンブズマン方式があつて、行政自体に置いている。あるべきと思うが。などの意見をいただきました。